

カルテック アミノ酸液

魚と海藻の栄養液

20リットル入り

作物にチッソ(N)等の栄養成分を供給するには 完全有機で、強力な速効性のアミノ酸液が最も効果的です。急激・旺盛に生長を進め、しかも無機チッソのような弊害が無く、ほとんどチッソ過多に陥りません。

- ▶ 新芽がスクスクと太く旺盛に伸び、葉はテリ(光沢)のある強い緑色で、モリモリ分厚くなります。
- ▶ 組織が緻密で瑞々しく充実して ズッシリ重くなり、花や果実の肥大・品質向上にも極めて有効です。
- ▶ 土壌微生物も急増殖し 冬期の地温上昇、急速な団粒構造化を示し、膨軟で豊かな地力が回復します。

アミノ酸の機能とは…

タン白質をはじめ、チッソ(N)を含む有機物群は土壤中で微生物の活動とともに循環しています。全てのチッソ有機物を構成する基本単位(共通部品)は《アミノ酸》で、微生物にも植物の根にも、最も速効的・強力な有機栄養(滋養)となります。

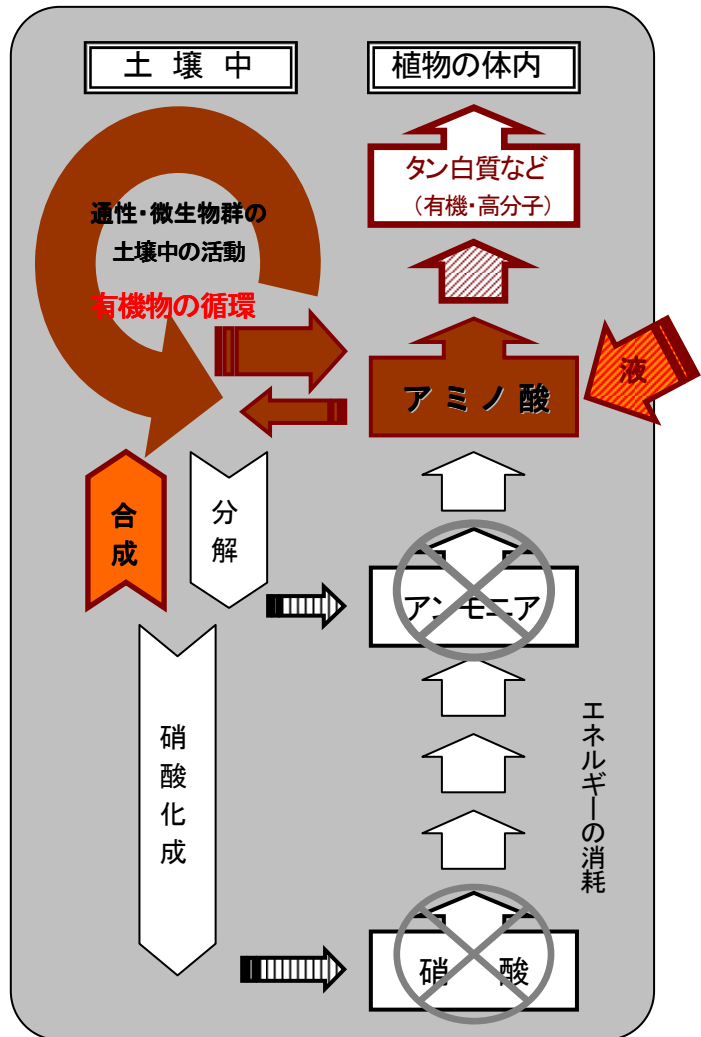
植物は一般の有機物をそのままの形態では吸収できませんが、有機物のなかでも《アミノ酸》は直接に吸収・活用できます。植物にチッソが必要なのは、じつは《アミノ酸》が必要なのです。

土壤中でチッソ有機物が分解・無機化すると、《アンモニア》、更に《硝酸》になります。これらが根から吸収されると、植物体内の無機チッソ同化・有機物合成の数段階の経路で多量のエネルギーを消耗します。植物は光合成産物のデンプン(糖分)を消費して衰弱し、チッソ過多に陥ります。

無機チッソ、特に《硝酸》は過剰に吸収されやすく、品質を劣悪にし、生育を萎縮させ、病害を増やし、花や果実の成熟を妨げますから、なるべく吸収を少なくする事が健全な栽培の鉄則です。

これと対照的に、《アミノ酸》はチッソ同化経路を省略(ショートカット)してそのまま直ちに植物体内の有機合成に活用されます。直接の有効性が最も強烈で、植物にエネルギーを消耗させないので、曇雨天が続いて日照不足の時にも作物を健康・旺盛に生長させ、品質を向上させます。

作物の健全・旺盛な生長に大事な《アミノ酸》の直接的栄養作用を発揮させるためには、微生物を活用した地力作りをし、かつ、液肥は無機チッソでなく《アミノ酸》を与えることが最重要です。



チッソ(N)栄養は〇〇アミノ酸 液肥はこれが最高！！

完全有機・速効性・チッソ栄養液で、健康・高品質、旺盛な生長を！！

カルテック アミノ酸液

〈高濃度・海の栄養液〉

【内容】	
(成分は分析例です。化学的成分調整をしていませんので、製品により多少の変動があります。)	
原材料	厳選した 魚液 (鰹)と 海藻 (昆布などの褐藻) の分解・抽出・濃縮物。及び醗酵有機液。 ★特に濃厚で、油分除去・ろ過・熟成を重ねた精製品です。無機成分は一切、添加していません。
主な含有・有機物	アミノ酸 (ないしオリゴ・ペプチド) : 約40% , アルギン酸 , 有機酸 , 核酸類 , (微量元素)
アミノ酸組成 (液中% 分析例)	<ul style="list-style-type: none"> グルタミン酸 : 約9% …………… 代謝の活発化、旨味をのせる成分 アルギニン : 約3% …………… 細胞の活力を引出す、疲労回復作用 グリシン : 約2.5% …… 葉緑素・核酸の増加、組織生長促進 プロリン : 約2.5% …… 糖増加、細胞膜形成、花と実の着生 アスパラギン酸, アスパラギン, ロイシン, メチオニン : 計 約9% リシン, フェニルアラニン, バリン, アラニン, セリン : 計 約8%、他 ★植物に活力を賦与し、健康・高品質にするアミノ酸を多く含みます。またアミノ酸が結合した形態の ジ・ペプチド、オリゴ・ペプチドが 高い生理活性を發揮します。 (原料に多く含まれるタン白質: コラーゲン, プロタミン等から由来する特性です。)
成分分析例 (理想的な成分 バランス)	(重量比) チツソ : 約5% , リン酸 : 約1% , カリ : 約2% (塩分: 1%未満、原液pH: 5.5) ★この液の成分は 100%完全に アミノ酸 (ないしペプチド) ・有機物からなります。 (注: 無機成分の液体肥料に少量の有機分を添加したような「アミノ酸入り液肥」では ありません。)

【主な使い方】

灌水	10アール当り 5~20リットル を 希釈・灌水。 (点滴灌水も可能) (希釈倍率は100倍以上、適宜。ただし茎葉にかかる場合は300倍以上) ★一般には 10リットル ずつ、半月ないし一月ごと、定期的に灌水施用します。 ★特に疲労・肥切れの時は 20リットル灌水で、肥沃な地力を回復させ 生長を強壮にします。 ★必ず根を見て、根が衰弱している場合は 先ず濃縮酵素液 の灌水で 根を回復させて下さい。 また、 アミノ酸液 と 濃縮酵素液 (3リットル程)の 混用 は 速効的で顕著な生長増進効果があります。 ★通常、液肥による肥料分の補給は アミノ酸液 を与えれば充分です。これ以外のものは不要です。 ★カルシウム散布または カルテックCa液状 (2~5リットル) との交互使用をお勧めします。
灌注	300倍希釈液を灌注。 灌注機では 1株当り400cc程度 (以上) を灌注します。 ★特に速効的に、根圏と根、そして植物全体を回復させ、旺盛な生長を促します。
葉面散布	500倍希釈 。(特に強く効かせたい場合は 300倍の濃厚液を散布する事もあります) ★一般には 週ごと、ないし半月ごとに葉面散布します。(近接散布の場合は3日間隔で散布) ★葉にツヤと厚みを増し、鮮やかで強い 緑色 とします。病害や ダニ , スリップス 等の虫害も 軽減 。 ★特に葉が傷んでいる場合は、 濃縮酵素液 と 混用 (両者とも500倍) すると 強い効果があります。 ★葉の栄養バランス健全化のために カルテックCa液状 との交互散布をお勧めします。 ★農薬と混用する際は 先に農薬を薄めの希釈倍率で溶かします。予め一部でテストして下さい。
苗への散布	小さい苗では 1000倍 、通常の苗なら 500倍 希釈液を 葉の上から 床土・根まで染み込むほど、タップリと散布します。(3~7日ごとに) ★苗の充実・生長を促し、チツソ過多にはしないので、育苗中の栄養液として最適です。
水田への施用	10アール当り 5リットル (~20リットル) を 水口に点滴しながら、水を入れ。

★《**厳守事項**》栽培の基本は **健康な地力と根の力**で (**植物の自力**) 生長を進める事です。**アミノ酸液**はその補助としての**栄養液**ですので、**効き目が判りやすいからといって これだけに頼りすぎないよう** ご注意下さい。

【注意】人体に有害な物質は含みませんが、飲食品ではありません。栓をして、猫や蝇の来ない 冷暗所に保管し、もし誤って顔などに付着した場合は 石ケンでよく洗い落として下さい。また、長期間の保管後に使用する場合は、容器ごと揺すって 液全体を混合して下さい。一般の液肥類との混用は可能ですが、お勧めしません。本品単独の施用で 通常の作物の生長に適した栄養バランスを保持できます。石灰硫黄合剤や、アルカリ性の薬剤類とは混合しないで下さい。